



# 藤本 みのる 通信

Vol 281

2017年12月19日発行

大月市議会議員

**日本共産党**  
Japanese Communist Party

自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 介護の現場を守るための意見書が全会一致

介護の現場が厳しい状況にあることが、一般質問や請願審査で浮き彫りになりました。紹介議員は関係者からそれぞれ強い要望をうけて熱意をもったのぞみました。請願の審査では、人手不足は国家試験の専門職に限らないということで、「介護職員の不足が危機的」と訂正。市議会の見識も発揮され、全会一致となりました。大月市でも、大幅増を求めた全国の動きに合流できました。

11月、政府内で報酬引き下げが打ち出される中、介護関係11団体が180万人分の署名を集めて社会保障財源の確保を求めました。12月18日の厚労・財務相決定では、社会保障費の自然増については財務省の要求通り圧縮するが、介護報酬については全体でプラス0.54%としました。抜本的引き上げにならなかったのは、社会保障の機械的削減を優先させたからです。今後も政治のあり方を問い、転換を求めていきます。

介護の現場を守るための請願

請願者 郡内健康友の会

紹介議員 萩原剛、藤本実

請願趣旨

平成27年度介護報酬改定を境に、介護事業所は大変厳しい経営状況にあります。そのうえ、介護福祉士、訪問看護師、理学療法士など介護専門員の不足が危機的状況になり、大月市内でも「デイサービス事業所を閉鎖せざるをえない」「必要とされている新規事業ができない」などの状況が生まれています。介護の現場を守ることは、国民（利用者・家族・従事者等）の生活の安定に繋がります。

そこで、平成30年4月の介護報酬改定にむけて、政府に対しまして、社会保障財源の確保と介護職員の大幅な処遇改善、職員確保対策の実施を強く求める意見書を提出していただくようお願いいたします。

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、厚労大臣

## 【藤本みのる活動日誌】

12月14日(木) 社会文教常任委員会(介護の請願採択)

12月15日(金) 市議会定例会最終日・閉会

12月18日(月) 大月市消防団防犯診断